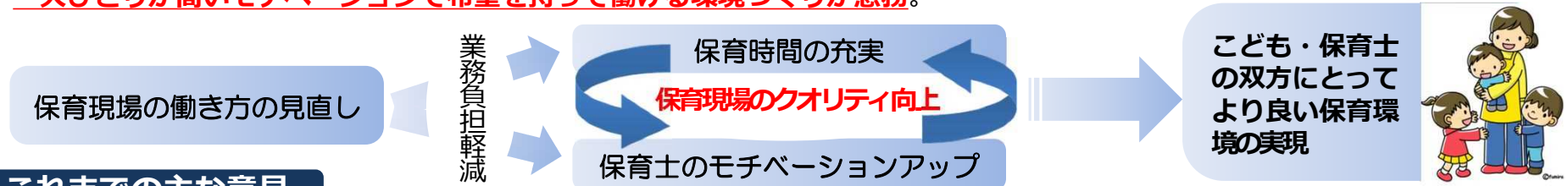


## 第3回保育現場の働き方改革研究会（これまでの議論を踏まえた整理）

### 現状・課題

- 幼児教育の無償化などを背景に、今後、ますます女性の就業率拡大に伴う**保育需要が高まる中、保育士の確保は喫緊の課題**。一方で、**保育の現場では、保育以外の事務作業など、保育士の負担は大きい**。
- こうした中、こども達により良い保育環境を提供する観点から、**保育現場の働き方を見直しにより保育士の負担を軽減し、一人ひとりが高いモチベーションで希望を持って働ける環境づくりが急務**。



### これまでの主な意見

#### 1 働き方の見直しに対する意識の醸成

園長等管理職は、働き方の見直しに対する意識がそもそも低い。

◇働き方の見直しに対する意識醸成セミナーの開催  
各保育所、認定こども園の園長の意識を醸成

#### 2 仕事の効率化による業務負担の軽減

- ・ 各種指導計画や保育日誌の作成など、保育以外の事務作業が非常に多い。働き方の見直しにまで手が回らない。
- ・ ICTの活用に対する現場の抵抗感が根強い。

◇ICTリテラシー向上セミナーの開催  
各保育所、認定こども園の園長及び中堅リーダーを対象に、ICTの価値を正しく認識し、各保育現場で活用することのメリットを理解してもらうためのセミナー、ICTシステムを「見て・触れて・体験する」展示会を開催。また、ICT導入後も継続して効果的に活用していくためのセミナーを随時開催。

◇ICT導入費用補助事業  
ICT導入に要する費用を補助。

- ・ 働き方の見直しに積極的に取り組もうにも、どのような方法で取組を実践していいのかわからない。
- ・ 働き方の見直しを実践できる強力なリーダーがいない。

◇保育現場のクオリティ向上実践リーダー養成講座の実施  
各保育現場で働き方の見直しを実践するリーダーを養成。

◇保育現場のクオリティ向上実践支援事業  
働き方の見直しに強い意志のある2、3の保育所等に対し、コンサルタントを派遣し、ICTの活用等による取組を実践。

#### 3 その他働き方の見直しを効果的に進めるための取組

- ・ 持ち帰り残業が多い、休みがとれなくてきついなど、保育士に対するマイナスイメージが定着しており、現場の保育士が増えず、働き方の見直しに取り組める状況にない。
- ・ 取組により期待されるクオリティ向上効果が保護者に伝わっていない。

◇保育士・保育所支援センター機能の充実

- ・ 各保育施設でのクオリティ向上効果について情報の発信。
- ・ 求職者向け施設紹介ページの作成などセンターのHPの充実による、保育士と施設のマッチング機能の充実。
- ・ 保育士の魅力を若い世代に発信するため、中学校、高校での出前講座や、保育施設での体験実習のコーディネートを実施。
- ・ 保護者の理解を促進するため、保護者の保育園一日体験を実施。